



安全データシート

WD-40 Specialist™ High Performance White Lithium Grease

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

作成日: 2023/06/07 改訂日: 2023/10/24 バージョン: 1.1

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : WD-40 Specialist™ High Performance White Lithium Grease
整理番号 : CSSS-TCO-010-156107

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 洗浄剤、平滑剤
使用上の制限 : 利用できない

会社情報

仕入先

Shanghai Wu Di Trading Co., Ltd.(WD-40 Company China)
Unit A, 7F, Tall D, No.2337, Gudai Rd, Minhang Shanghai, China
T 021-62964040 400 821 4040 - F 021-52960140

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : -

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理的危険性	爆発物	区分に該当しない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	区分 1
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	区分に該当しない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない
	酸化性液体	区分に該当しない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過氧化物	区分に該当しない
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない
健康有害性	急性毒性 (経口)	区分に該当しない
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入 : 気体)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入 : 蒸気)	区分に該当しない

安全データシート

WD-40 Specialist™ High Performance White Lithium Grease

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

	急性毒性 (吸入 : 粉じん、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分に該当しない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	区分 2
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 2 (呼吸器系, 全身毒性)
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
環境有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分 1
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分 2
	オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP)

危険有害性 (GHS JP)

： 危険
： 極めて可燃性の高いエアゾール (H222)
： 高压容器：熱すると破裂のおそれ (H229)
： 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い (H361)
： 臓器の障害のおそれ (呼吸器系、全身毒性) (H371)
： 水生生物に非常に強い毒性 (H400)
： 長期継続的影響によって水生生物に毒性 (H411)

注意書き (GHS JP)

安全対策

： 使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
： 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
： 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)
： 裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。(P211)
： 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。(P251)
： 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)
： 取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。(P264)
： この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
： 環境への放出を避けること。(P273)
： 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)
： ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。(P308+P311)
： ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。(P308+P313)
： 漏出物を回収すること。(P391)
： 施錠して保管すること。(P405)
： 日光から遮断し、50℃以上の温度にばく露しないこと。(P410+P412)
： 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

応急措置

保管

廃棄

安全データシート

WD-40 Specialist™ High Performance White Lithium Grease

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 :

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
液化石油ガス（プロパン及び n-ブタンを含む）	40 - 60	-	-	-	68476-86-8
水素化軽質石油留分	25 - 35	CxHy	-	-	64742-47-8
石油溶剤	15 - 25	-	-	-	-
酸化亜鉛（ZnO）	< 5	OZn	(1)-561	既存化学物質	1314-13-2

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般 : ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を脱ぐこと。
皮膚は多量の水で洗浄する。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。

眼に入った場合 : 予防措置として眼を水ですすぐ。
眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。
無理に吐かせてはいけない。
直ちに医師の診察を受ける。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素

使ってはならない消火剤 : 火災拡散の恐れがあるため、ウォータージェットは使用しない。

火災危険性 : 極めて可燃性の高いエアゾール。

爆発の危険 : 高压容器：熱すると破裂のおそれ。

火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。

消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。
完全防護服。

安全データシート

WD-40 Specialist™ High Performance White Lithium Grease

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

非緊急対応者

応急処置 : 漏出エリアを換気する。
裸火、火花禁止、禁煙。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

緊急対応者

保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第 8 項の「ばく露制御/個人保護」を参照。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法 : 漏出物を回収すること。
浄化方法 : 製品は機械的に回収する。
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : データなし
安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。
熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。
裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。
使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
個人用保護具を着用する。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

接触回避 : データなし

衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

安全な保管条件 : 日光から遮断すること。
50℃以上の温度にばく露しないこと。
施錠して保管すること。
換気の良い場所で保管すること。
涼しいところに置くこと。

安全な容器包装材料 : データなし

安全データシート

WD-40 Specialist™ High Performance White Lithium Grease

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

8. ばく露防止及び保護措置

酸化亜鉛 (ZnO) (1314-13-2)	
日本 - ばく露限界値 (日本産業衛生学会)	
現地名	酸化亜鉛ナノ粒子 # Zinc oxide nanoparticles
許容濃度	0.5 mg/m ³
規則参照	許容濃度等の勧告 (2022 年度) 産衛誌 64 巻
日本 - ばく露限界値	
許容濃度(産衛学会)	【粉塵許容濃度】(第 2 種粉塵) 吸入性粉塵 1mg/m ³ 総粉塵 4mg/m ³
許容濃度(ACGIH)	TWA 2 mg/m ³ (R), STEL 10 mg/m ³ (R)

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

呼吸用保護具 : [換気が不十分な場合]呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具 : 保護用手袋

眼の保護具 : 安全メガネ

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

個人用保護具シンボル



環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: オフホワイト
臭い	: 石油臭
pH	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: -28.89 ° C
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: 極めて可燃性の高いエアゾール
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水に溶けない
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発特性	: 高压容器 : 熱すると破裂のおそれ。

安全データシート

WD-40 Specialist™ High Performance White Lithium Grease

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

爆発限界 (vol %) : データなし
動粘性率 : >20.5 mm²/sec @ 40° C (104° F)
VOC 含有量 : 48.3 %
粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 極めて可燃性の高いエアゾール。
高圧容器 : 熱すると破裂のおそれ。

化学的安定性 : 通常の条件下では安定。

危険有害反応可能性 : 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。

避けるべき条件 : 高温面との接触を避ける。熱。炎や火花の禁止発火源をすべて断つ。空のときでも、穴を開けたり焼却したりしないこと。

混触危険物質 : 強酸。強塩基。強力な酸化剤。

危険有害な分解生成物 : 炭素酸化物(CO、CO₂)。酸化窒素。硫黄酸化物。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口) : 区分に該当しない

急性毒性 (経皮) : 分類できない

急性毒性 (吸入) : 区分に該当しない(分類対象外) (気体)
区分に該当しない(分類対象外) (蒸気)
分類できない (粉じん、ミスト)

水素化軽質石油留分 (64742-47-8)

急性毒性 (経口)	ラットの LD50 値が >15000 mg/kg bw (IUCLID (2000)) より、区分外とした。
急性毒性 (経皮)	データなし。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における液体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	データなし。
急性毒性 (吸入:粉末)	データなし。
LD50 経口	15000 mg/kg

酸化亜鉛 (ZnO) (1314-13-2)

急性毒性 (経口)	ラット LD50 >5,000 mg/kg bw 及び LD50 >15,000 mg/kg bw (EU-RAR (2004)) に基づき区分外とした。
急性毒性 (経皮)	ウサギの経皮 LD50 >5,000 mg/kg (EPA Pesticide (1992)) のデータから「区分外」とした。今回の調査で入手した EPA Pesticide (1992) のデータをもとに分類した。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:粉末)	ラット LC50 >5.7 mg/L (4hr) (EU-RAR (2004)) に基づき JIS 分類による区分外とする。

安全データシート

WD-40 Specialist™ High Performance White Lithium Grease

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

酸化亜鉛 (ZnO) (1314-13-2)	
LD50 経口	5000 mg/kg
LD50 経皮	5000 mg/kg
LC50 吸入 - ラット (粉じん / ミスト)	5.7 mg/l/4h

皮膚腐食性／刺激性 : 区分に該当しない

水素化軽質石油留分 (64742-47-8)	
皮膚腐食性／刺激性	ウサギを用いた試験 (OECD TG 404) の適用時間 4 時間、観察期間 24、48、72 時間の Dreize Score の平均は紅斑＝0.2、浮腫＝0.0 (IUCLID (2000))、他のウサギを用いた試験 (OECD TG 404 GLP) の Dreize Score の平均は紅斑＝1.7、浮腫＝0.7 (IUCLID (2000)) または刺激性なし (IUCLID (2000)) の結果から、区分外とした。

酸化亜鉛 (ZnO) (1314-13-2)	
皮膚腐食性／刺激性	ウサギの皮膚 (耳) に 500 mg を 24 時間閉塞適用して刺激性なしの結果 (EU-RAR (2004))、さらにウサギの背部皮膚に 0.5 mL を 5 日間継続し開放または閉塞適用により刺激性なしの結果 (EU-RAR (2004)) に基づき、区分外とした。なお、モルモットおよびマウスに 5 日間継続的に開放適用して刺激性なし (ACGIH (2003))、また、ヒトでボランティア 6 人に 40%軟膏 を閉塞適用し 1 人だけ発疹と小胞性膿疱を認めたが、酸化亜鉛によるものかまたは他の刺激によるものか分からないとしている (EU-RAR (2004))。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 区分に該当しない

水素化軽質石油留分 (64742-47-8)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	ウサギを用いた試験 (GLP) では「刺激なし＝Not irritating」 (IUCLID (2000)) であることから、区分外とした。

酸化亜鉛 (ZnO) (1314-13-2)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	ウサギ 3 匹の結膜嚢に適用した試験 (OECD TG 405) において、角膜混濁は見られず、虹彩炎は適用 1 時間目のみ 1 匹だけがスコア 1、結膜発赤は全例がスコア 1～2 で 72 時間目で完全に回復、結膜浮腫 (分泌物は適用 1 時間目のみ全例がスコア 1) は適用 1 時間目のみ全例がスコア 2 であった (EU-RAR (2004)) ことから、区分外とした。なお、ウサギを用いた別の試験でも、適用 2 日後まで軽度の結膜発赤と浮腫を認めたのみで「刺激性なし」あるいは「軽度の刺激性」と評価されている (EU-RAR (2004))。

呼吸器感作性 : 分類できない

水素化軽質石油留分 (64742-47-8)	
呼吸器感作性	データなし。

酸化亜鉛 (ZnO) (1314-13-2)	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。

皮膚感作性 : 分類できない

安全データシート

WD-40 Specialist™ High Performance White Lithium Grease

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

水素化軽質石油留分 (64742-47-8)	
皮膚感作性	データなし。
酸化亜鉛 (Z n O) (1314-13-2)	
皮膚感作性	モルモットの皮膚感作性試験（マキシマイゼーション試験: Directive 96/54/EC B.6 & OECD TG 406）の結果が3件報告され（EU-RAR（2004））、各試験での陽性率はそれぞれ（1）試験群：40%（4/10）、対照群：0%（0/5）、（2）試験群：0%（0/10）、対照群：20%（1/5）、（3）試験群：0%（0/10）、対照群：0%（0/5）であった。1回目の試験で陽性率40%と相容れない結果となったが、酸化亜鉛が強い感作性を有することを示す証拠ではないと述べられている（EU-RAR（2004））。また接触アレルギーの検討を目的としたヒトパッチテストで、酸化亜鉛のみを使用した場合に被験者の14人全員に陽性反応は認められなかった（EU-RAR（2004））。EU-RAR（2004）では結論として「皮膚感作性について分類・表示すべきでない」と述べている。以上の情報に基づき区分外とした。

生殖細胞変異原性 : 分類できない

水素化軽質石油留分 (64742-47-8)	
生殖細胞変異原性	Disel fuel のマウスの吸入ばく露による優性致死試験（生殖細胞 in vivo 変異原性試験）と Disel 2（CAS No:64742-47-8）の DMSO および cyclohexane/DMSO 抽出物のマウスの経口投与による骨髓細胞小核試験（体細胞 in vivo 変異原性試験）の結果は陰性（ATSDR（1995））であるが、分類対象物質については抽出物の試験結果しかなく、また複数指標の in vitro 変異原性試験陽性のデータもないことから分類できないとした。なお、Kerosene のラットの腹腔内投与による骨髓細胞染色体異常試験（体細胞 in vivo 変異原性試験）の結果は陰性であるが、動物および標的臓器での毒性の記載がなく確定できないとしている（ATSDR（1995））。また、in vitro 変異原性試験：エームス試験においては Disel 2（CAS:64742-47-8）の DMSO および cyclohexane/DMSO 抽出物で陽性の結果が得られている（ATSDR（1995））。

酸化亜鉛 (Z n O) (1314-13-2)	
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。すなわち、吸入ばく露によるラットの骨髓細胞を用いた in vivo 染色体異常試験で極めて軽度の数的異常が認められたものの、本知見は in vivo における明確な証拠とは評価されていない（SIDS（2006）、EU-RAR（2004））。なお、in vitro 変異原性試験では復帰突然変異試験で陰性、マウスリンフォーマ試験で陽性と報告されている（NITE（2008）、SIDS（2006）、EU-RAR（2004）、EPA IRIS（2005））。なお、旧分類で「ハムスター胚細胞を用いた形質転換試験で陽性（EU-RAR（2004））」の記載があるが、分類ガイダンスに従い検討データの対象から外した。

発がん性 : 分類できない

安全データシート

WD-40 Specialist™ High Performance White Lithium Grease

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

WD-40 Specialist™ High Performance White Lithium Grease	
IARC グループ	非該当
国家毒性プログラム(NTP)ステータス	非該当
水素化軽質石油留分 (64742-47-8)	
発がん性	IARC (IARC vol.45, 1989) がケロシン (CAS: 8008-20-8) を含む Jet Fuel を Group3 に分類していることから区分外とした。
酸化亜鉛 (Z n O) (1314-13-2)	
発がん性	米国 EPA により group I に分類されている (IRIS (2005)) ことに基づき、分類できないとした。分類ガイダンスの改訂に従い区分を変更した。
生殖毒性 : 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い	
水素化軽質石油留分 (64742-47-8)	
生殖毒性	Kerosine のラットを用いた吸入ばく露による催奇形性試験での結果は「陰性」(IUCLID (2000)) であったが、親の性機能及び生殖能に関するデータがなく分類できないとした。
酸化亜鉛 (Z n O) (1314-13-2)	
生殖毒性	ラットを用いた交配 21 日前から妊娠 15 日までの混餌投与により 0.4%の濃度で全胎児の吸収 (NITE (2008) 、EU-RAR (2004)) 、及びラットの妊娠 0 日から 14 日までの混餌投与により、2000 ppm 以上で死産児の発生 (NITE (2008) 、EU-RAR (2004)) がそれぞれ報告されている。以上の毒性用量で母動物の一般毒性の発現が否定されていないので区分 2 とした。
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 臓器の障害のおそれ(呼吸器系, 全身毒性)	
水素化軽質石油留分 (64742-47-8)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし。
酸化亜鉛 (Z n O) (1314-13-2)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ヒトで酸化亜鉛微粉塵の吸入による金属ヒューム熱の発症が多数報告され、咳、胸痛、悪寒、発熱、呼吸困難、筋肉痛、嘔気など呼吸器系だけでなく全身性に症状が見られている (NITE (2008) 、ACGIH (2003)) 。金属ヒューム熱は主に呼吸器系の症状を呈することから、区分 1 (呼吸器、全身毒性) に分類した。
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない	

安全データシート

WD-40 Specialist™ High Performance White Lithium Grease

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

水素化軽質石油留分 (64742-47-8)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ラットを用いた 13 週間の経口投与試験 (OECD TG 409 GLP) でガイダンスの区分 2 を超える雄の 1000 mg/kg の用量と雌の 500 mg/kg 及び 1000 mg/kg の用量で肝細胞の肥大以外に影響は見られない (IUCLID (2000)) ことから区分外 (経口投与) に該当するが、リスト 2 のデータであり、他の経路のデータがないことから分類できないとした。なお、雄ラットの 100mg/kg 投与群で α -2u-グロブリンによる腎臓の影響が見られているが、雄ラットの特異的な反応と考えられ、ヒトでの毒性学的意義が不明であることから評価しなかった。
酸化亜鉛 (ZnO) (1314-13-2)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データ不足のため分類できない。なお、ラット、フェレットを用いた経口投与による試験が報告されている (EHC (2001)、NITE (2008)) が、実施年の古い試験 (1953 年)、1 用量のみの試験あるいは推奨動物種ではないなど、いずれも反復ばく露試験として分類に用いるには疑義が残る。

誤えん有害性 : 分類できない

WD-40 Specialist™ High Performance White Lithium Grease	
動粘性率	>20.5 mm ² /sec @ 40° C (104° F)
水素化軽質石油留分 (64742-47-8)	
誤えん有害性	データなし。
酸化亜鉛 (ZnO) (1314-13-2)	
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般 : 水生生物に非常に強い毒性、長期継続的影響によって水生生物に毒性。
水生環境有害性 短期 (急性) : 水生生物に非常に強い毒性
水生環境有害性 長期 (慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に毒性

水素化軽質石油留分 (64742-47-8)	
水生環境有害性 短期 (急性)	魚類 (ブルーギル) による 96h-LC50=2.2mg/L であることから (AQUIRE 2009)、区分 2 とした。
水生環境有害性 長期 (慢性)	急性毒性区分 2 であり、急速分解性を示すデータが無いことから区分 2 とした。
LC50 96h - 魚 [1]	2.2 mg/l
酸化亜鉛 (ZnO) (1314-13-2)	
水生環境有害性 短期 (急性)	甲殻類 (オオミジンコ) による 48 時間 LC50 = 0.098 mg Zn/L (NITE 初期リスク評価書, 2008) であることから、区分 1 とした。

安全データシート

WD-40 Specialist™ High Performance White Lithium Grease

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

酸化亜鉛（ZnO）(1314-13-2)

水生環境有害性 長期（慢性）	本物質が金属化合物で水中での挙動が不明であるため、慢性毒性データを用いた場合、藻類（ <i>Pseudokirchneriella subcapitata</i> ）の 72 時間 NOEC = $24 \mu\text{g Zn/L}$ ($29.9 \mu\text{g ZnO/L}$)（EU-RAR, 2010）であることから、区分 1 となる。慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、本物質が金属化合物で水中での挙動が不明であり、甲殻類（オオミジンコ）の 48 時間 LC50 = 0.098 mg Zn/L （NITE 初期リスク評価書, 2008）であることから、区分 1 となる。以上の結果から、区分 1 とした。
EC50 48h - 甲殻類 [1]	0.098 mg/l
NOEC 藻類 慢性	0.0299 mg/l

残留性・分解性

WD-40 Specialist™ High Performance White Lithium Grease

残留性・分解性	データなし
---------	-------

Petroleum gases, liquefied, sweetened; Petroleum gas (68476-86-8)

急速分解性でない

水素化軽質石油留分 (64742-47-8)

急速分解性でない

酸化亜鉛（ZnO）(1314-13-2)

急速分解性でない

生体蓄積性

WD-40 Specialist™ High Performance White Lithium Grease

生体蓄積性	データなし
-------	-------

土壌中の移動性

WD-40 Specialist™ High Performance White Lithium Grease

土壌中の移動性	データなし
---------	-------

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。

安全データシート

WD-40 Specialist™ High Performance White Lithium Grease

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

14. 輸送上の注意

国際規制

国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG) : 1950
正式品名 (UN RTDG) : エアゾール
容器等級(UN RTDG) : 非該当
輸送危険物分類 (UN RTDG) : 2.1
危険物ラベル (UN RTDG) : 2.1



クラス (UN RTDG) : 2
区分 (UN RTDG) : 2.1
少量危険物 (UN RTDG) : See SP 277
微量危険物 (UN RTDG) : E0
包装指令 (UN RTDG) : P207、LP200
特別包装規定 (UN RTDG) : PP87、L2

海上輸送(IMDG)

国連番号 (IMDG) : 1950
正式品名 (IMDG) : AEROSOLS
容器等級(IMDG) : 非該当
輸送危険物分類 (IMDG) : 2.1
危険物ラベル (IMDG) : 2.1



クラス(IMDG) : 2
区分(IMDG) : 2.1
特別規定 (IMDG) : 63、190、277、327、344、381、959
少量危険物(IMDG) : SP277
微量危険物(IMDG) : E0
包装要件(IMDG) : P207、LP200
特別包装規定 (IMDG) : PP87、L2
緊急時計画番号(火災) : F-D
緊急時計画番号(流出) : S-U
積載区分 (IMDG) : なし
積載および取り扱い(IMDG) : SW1、SW22
隔離(IMDG) : SG69

航空輸送(IATA)

国連番号 (IATA) : 1950
正式品名 (IATA) : Aerosols, flammable
容器等級 (IATA) : 非該当

安全データシート

WD-40 Specialist™ High Performance White Lithium Grease

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

輸送危険物分類 (IATA) : 2.1
危険物ラベル (IATA) : 2.1



クラス (IATA) : 2
区分(IATA) : 2.1
PCA 微量危険物(IATA) : E0
特別管制区(PCA)少量危険物(IATA) : Y203
特別管制区(PCA)数量限定物の最大積載量 (IATA) : 30kgG
PCA 包装要件(IATA) : 203
特別管制区(PCA)最大積載量(IATA) : 75kg
CAO 包装要件(IATA) : 203
貨物機専用(CAO)最大積載量 (IATA) : 150kg
特別規定(IATA) : A145、A167、A802
ERG コード (IATA) : 10L

海洋汚染物質 : 該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし
緊急時応急措置指針番号 126

15. 適用法令

国内法令

消防法 : 第四類 引火性液体 第一石油類
危険等級 : I
労働安全衛生法
有機則 : 第3種有機溶剤等（ミネラルスピリット（ミネラルシンナー、ペトロリウムスピリット、ホワイトスピリット及びミネラルターペンを含む。））
表示物質 : 法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9（380灯油, 188酸化亜鉛）
通知物質 : 法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9 380灯油, 188酸化亜鉛）

16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしてはいるが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。